

| | | | | | |
|-----|---|--|----|-------|--|
| No. | 403 | 宝さがし | | | |
| 概要 | 探検マップに記された場所を順番に見つけたり、宝箱の鍵を探し出したりする。最後に宝箱の中のパズルを完成する。 | | | | |
| 内容 | 人数(人) | 8~40人 | 時間 | 1~2時間 | |
| | 対象 | 幼~小2 | 時期 | 通年 | |
| | 場所 | 館内 | | | |
| | 指導形態 | 自主活動 ・ 事前の説明のみ ・ 直接指導 | | | |
| | 安全管理 | 引率者による監視(ポイント及びその周辺)と職員による巡回 | | | |
| ねらい | ○友だちと協力し、仲良くゲームを楽しむことができる。 ○地図を使って課題を解決し、仲間の大切さに気づく。 | | | | |
| 準備 | 施設から貸出 | ・宝箱(鍵) ・箱(ピース入り) ・パズル台 ・パズルシート ・名札用ストラップ ・探検マップ ・探検カード ・シール | | | |
| | 団地で準備 | ○活動しやすい服装 | | | |
| | 確認事項 | ○4グループで実施する。 ○引率者は担当職員と実施方法や監視体制、安全管理等について事前に確認を行う。 | | | |



| | 内 容 | 留意事項 |
|-------|---|--|
| 活動前 | ○担当者と打ち合わせをする。 | ○4グループに分けておく。 ○各グループにつく引率者を決めておく。 |
| 活動の説明 | ○グループで行動することを伝える。 ○「探検マップ」にある12か所を順番に見つけて、鍵の箱を見つけたら、それを持って出発点にもどる、などルールを説明する。 ○ろうかを歩くときのマナーを伝える。 | ○研修室、宿泊室の中にはないので、子どもがうっかり研修中の部屋をあけないように説明をする。屋外にも渡り廊下にも無いことを知らせておく。 |
| 展 開 | ○4グループで並ぶ。 ○各グループに、「探検マップ」を1つ、「探検カード」を1人1枚ずつ渡す。「探検カード」は、名札用ストラップで首からかける。 ○活動の説明を聞き、活動を始める。 ○「探検マップ」にある12か所を見つめる。1階、2階、3階それぞれ4か所を見つめるごとに、引率している大人は、子どもが持つ「探検カード」にシールを貼る。 ○4チームみんなそろったら、宝箱をあけて、中に入っているパズルのピースを協力してはめる。 ○宝箱の中のパズルのピースをグループのメンバーと協力しながらはめる。 ○パズルが完成したら、振り返りをして終わり。(記念撮影の時間等にしてもいい) ※時間や人数に応じて、活動の変更も可能 ○短時間バージョン①…4つのグループになり、鍵の入ったそれぞれの箱を探す。少人数ならば1グループで4つの箱を探す。後はパズルの活動。 ○短時間バージョン②…パズルの活動のみ。 ○人数が多いときには、シートをつけてパズルを完成させる。 ○人数が少なかったり、対象年齢が低かったりする場合は、シートを外して、裏側のパズルを利用して活動する。その際、最後にパズルを一斉に裏返して完成させる。) | ○探検マップと名札用ストラップは回収。探検カードは持って帰ってもらう。 ○対象に合わせて課題の出し方は工夫する。 ○ゲームをみんなで楽しむことを主眼とする。 ○引率者は、活動中は自分の周辺での安全を含め、見守りを行う。 ※職員は様子を見て回る。 |